

## 県政情報

日本共産党茨城県議会議員

鈴木さとし

樋口973-5 ☎24-0278 (fax 兼)



### 鈴木県議、シルバー人材センターのみなさんと懇談 「仕事が続けられてよかった」と笑顔

今年2月頃、鈴木県議は下岡崎公園(以下、公園)の管理業務(草の刈り払いや木の枝おろしなど)を請け負っているシルバー人材センター(以下、センター)の会員から「新年度から公園の管理は民間業者に委託される。



みなさんおつかれさまです:下岡崎公園にて

自分たちの仕事が無くなる」と相談されました。早速、鈴木県議は、センターの役員や関係会員のみなさんと一緒に、市当局(市長、土木部長)と交渉しました。その結果、市は引き続き公園の管理業務をセンターに委託することを約束。現在、会員のみなさんが公園管理の仕事を続けています。

### ヒロシマ・ナガサキ『あの夏の日 の記憶』

8月3日、明野公民館で、“はらんきょうの会”が広島・長崎の朗読劇を公演しました。日本の敗戦が濃い太平洋戦争末期、アメリカ軍は昭和20年8月6日(広島)、8月9日(長崎)に世界初の原爆を投下しました。そして9年後アメリカは太平洋のビキニ環礁で水爆実験を行い、その死の灰を日本漁船「第五福竜丸」が浴びました。朗読劇は、それらの地獄絵とも言える惨状と悲慘さを表現し、戦争は二度と起こしてはいけない、世界の原水爆は禁止すべき、と切々と訴えていました。



### 故百目鬼晋さん(元市議会副議長)の思いを胸に —新中核病院と市役所移転の実現を—県議会議員 鈴木さとし

また、お盆の季節がめぐってきました。私と百目鬼さんとの出会いは、25年前のことでした。中学3年の息子の高校受験のことで、晋さんの兄である下館市議会事務局員の範夫さんから紹介されたことが始まりでした。

その後、百目鬼さんは、平成15年(2003年)の下館市議選に出馬。トップ当選を果たし、下館政界の寵児となりました。議会で私と百目鬼さんは、新中核病院や市役所のスピカ移転問題で、一緒に市民目線の論陣をはって力を合わせてきました。



そして、平成23年(2011年)の暮れに、百目鬼さんは「市長選に出馬して、新中核病院と市役所移転問題を解決したい」と、私に打ち明けました。しかし、明けた年の2月急死。私は愕然としました。

百目鬼さん、私はいま、あなたの遺志を継ぎ県議会議員として活動を続けています。

しかし、道半ばです。遺志を確実に実現するため、12月の県議選に臨み、再選を果たすべく準備を進めています。

最後に、あなたの薫陶を受けた息子は、病理が専門の獣医として働いています。本当にありがとうございました。安らかにお眠り下さい。合掌。

### —市民の方からのご質問に答えて—

\*新中核病院の建設場所はどうなるのか、そして8月中に建設推進協議会は始まるのか、という問い合わせがありましたのでお答えいたします。

○建設場所については、候補地として、竹島地区の川澄、養蚕地区の茂田、筑西市民病院の跡地、市役所の跡地などがあがっています。それらについて、建設推進協議会の中で検討されたうえで、選定されます。

○現在の状況では、8月中に推進協議会を開くのは微妙のようです。病床削減計画の問題があつて、国・県との調整がずれ込んでいるようです。

## 県議会の保健福祉委員会で健康問題の調査

7月30日、県議会・保健福祉委員会は、がん研究会有明病院院長でがん研究の権威である門田守人先生と本県健康プラザの管理者で、ヘルス体操の権威である大田仁史先生を参考人として招き、意見を聞きました。

### \*門田守人先生の主な発言から(一部)

- ・乳がんでは日本女性は欧米に比べて健診率が低く、術後の余命が短い。意識改革と制度改革が必要。
- ・がん治療ができる病院は、一点集中の拠点病院ではなく、地域に特化した特定のがん病院と役割分担した方がいい。

### \*大田仁史先生の主な発言から(一部)

- ・シルバーリハビリ体操指導士養成は現在(7/25)6213人です。一万人計画の62%で、指導士の養成を強めたい。指導士の表彰も考えていきたい。
- ・障害調整健康余命(平成20年、2008年調べ)  
男65歳から16~17年(余命の幅) 女65歳から20年以上(余命の幅)

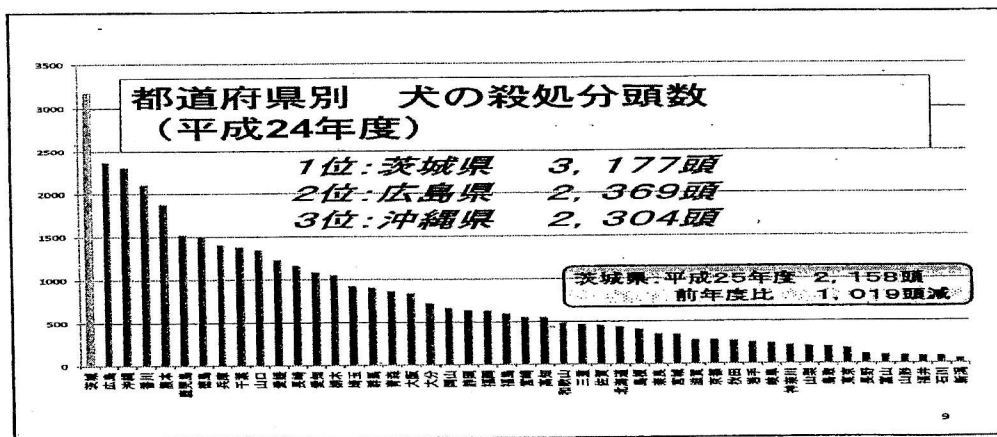
『いきいきヘルス体操』開催教室(追加分) 講師:杉山悦子、上野幸子

○中公民館—毎月第1、第3日曜日午後1時~3時

○河間公民館—毎月第1、第3日曜日午後1時半~3時半

## 県議会の保健福祉委員会で動物指導センターを視察

6月30日、笠間市内にある県動物指導センターの調査視察を行いました。同センターの報告では、平成25年度の犬猫の殺処分数は、4,931匹(犬2,158匹、猫2,773匹)であることが報告されました。その後、私たち委員は、犬がガス室に送られて苦しうに死んでゆく映像(実写)を観ました。私は胸が痛くなり、こんな残酷なことが無くなることを祈りました。



## 茨城県のドクターヘリ広域連携の実施状況について

| ヘリ区分 | 本県との連携形態 | 茨城県内の出動対象地域数 | 茨城県への運航 |      | 他県への出動件数             | ヘリ全体の出動件数(うち他県への出動件数) |
|------|----------|--------------|---------|------|----------------------|-----------------------|
|      |          |              | 要請件数    | 出動件数 |                      |                       |
| 茨城県  | —        | 県内全域         | 943     | 692  | 栃木県へ: 11件            | 703件(11)              |
| 栃木県  | 相互利用※1   | 6市2町         | 22      | 18   | 群馬県へ: 12件            | 680件(30)              |
| 千葉県  | 共同利用※2   | 12市2町1村      | 176     | 176  | —                    | 1,053件(176)           |
| 福島県  | 相互利用※1   | 1町           | —       | —    | 山形県へ: 0件<br>新潟県へ: 0件 | 474件(0)               |
| 計    | —        | —            | 1,141件  | 886件 | 23件                  | 2,910件(217)           |

※1 両県のヘリが両県内に相互に乗り入れ。

※2 日本医科大千葉北総病院ドクターヘリが茨城県内に乗り入れ。

